

宇都宮市立富士見小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「理科の勉強は好きですか」について、肯定割合が94.9%と、国の平均を15.2ポイント上回った。また、「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」について、肯定割合が95%で、国の平均を17ポイント上回るなど、意欲の高さがうかがえる。引き続き、学習問題についての疑問をもたせ予想を立てさせたり、観察や実験で確かめたことを、結果としてまとめさせたりすることを大切にしていきたい。

○「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」について、肯定割合が95.8%と、国の平均を8.6ポイント上回った。また、「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」について、肯定割合が94.9%と国の平均を22.4ポイント上回った。学校生活の中でも、自分でやるべきことを決めたり、できるようになるために、課題に挑戦したりしようとする様子がうかがえる。今後も、「音読・家庭学習がんびりカード」等を活用し、学習や生活の中で、課題やめあてをもつことで主体的に取り組む姿勢を育てていきたい。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について、肯定割合が100%と、国の平均を3.2ポイント上回った。一人一人が、いじめがよくないことだと自覚していることがうかがえる。道徳の授業において、いじめ問題について考えたり、まごころカードやいじめゼロ強調月間の取組、学校生活アンケート等を活用したりすることで、いじめに対する認識を深め、友達と互いに協力し合える行動実践への意欲を高めさせたい。

○「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使いましたか」について、「週3回以上」と回答した割合が73.9%と国の平均を15.7ポイント上回った。また、「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(インターネット検索など)」について、「週3回以上」と回答した割合が57.9%と国の平均を14ポイント上回った。学習において、個人用端末を活用する機会が多いことがうかがえる。個人用端末を使うことで、より短時間で多くの情報を得たり、友達との意見を共有したりすることのできるよさを生かしながら、端末活用に取り組んでいきたい。

●「読書は好きですか」について、肯定割合が66.4%と国の平均を6.7ポイント下回った。おすすめの本40冊や親子読書、読書週間を通して、本を読む楽しさを感じさせたい。更に読書経験は、語彙力や文章力等を高めていく上で大切であるため、朝の読書や図書室の利用を奨励し、本に触れる機会を増やしていきたい。

●「算数の授業の内容はよく分かりますか」について、肯定割合が79.9%と、国の平均を1.3ポイント下回った。児童の実態に合わせて、授業を展開したり、学びを実感することのできる振り返りを工夫したりして、着実に力を身に付けさせたい。更には、少人数指導を活用することで、一人一人の基礎基本の定着を図っていきたい。

●「将来の夢や目標を持っていますか」について、肯定割合が76.5%と国の平均を3.3ポイント下回った。各教科において、「勉強することは大切だと思いますか」の肯定割合が国の平均よりも高いことから、学習することは大切だと考える一方で、将来の夢や目標をもてていないということがうかがえる。総合的な学習の時間におけるキャリア教育を通して、自分の未来をイメージし、具体的な夢や目標をもったり、それに向かって前向きに取り組んだりできるように支援していきたい。

宇都宮市立富士見小学校（第6学年）
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・基礎基本の確実な定着	・朝の学習時における漢字や計算練習の実施、ステップアップシートの活用 ・AI型学習ドリルを活用した、個に応じた基礎的・基本的知識・技能の定着	・「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」については、3問中2問は国の正答率を下回った。 ・数と計算の領域については、国の正答率を3.9ポイント下回っているものもあるが、全体的には同程度か上回っている。 ・全ての教科の「知識・技能」「思考・判断・表現」において、国の平均正答率を上回っている。
・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・各教科の見方・考え方を働かせる教師のコーディネート ・「何を学んだのか」を実感させることのできる振り返りの工夫 ・ICT機器の積極的、効果的な活用 ・各種学習調査の結果の分析と指導改善	・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の問いに対する肯定割合は91.6%で、国の肯定割合を13.4ポイント上回っている。
・個に応じた指導の推進による学習意欲の向上	・興味、関心をもって取り組める学習課題の設定・教材の開発	・「5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」の問いに対する肯定割合は89.9%で、国の肯定割合を10.2ポイント上回っている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
教科に関する調査から、基礎的な知識や技能は身に付いていることが分かるが、記述問題において、要点をまとめたり説明したりする問題になると、無回答も増え、課題が残る。	自分の思いや考えを表出させるための支援	授業時間では、思考する時間を十分に確保し、自分の思いや考えを表出できるようにする。また、自分の言葉で授業のまとめをしたり、自分の考えを振り返って記入したりするなど、大事なポイントを押さえながら短い言葉でまとめという経験を積み重ねていけるよう引き続き指導を行う。